

ヒスロンH錠 200mg

【この薬は？】

販売名	ヒスロンH錠200mg HYSRON-H Tablets 200mg
一般名	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル錠 Medroxyprogesterone acetate
含有量 (1錠中)	200 mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗悪性腫瘍経口黄体ホルモン製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、エストロゲンの作用を阻害し、乳がん、子宮体がん（内膜がん）の細胞が増殖するのを抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

乳癌

子宮体癌（内膜癌）

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬の使用中に、重篤な動・静脈血栓症が起こり、死亡に至った報告があります。動・静脈血栓症（ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくいなど）の症状があらわれた場合には、ただちに受診してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・血栓症を起こすおそれの高い次の人
 - ・手術後1週間以内の人
 - ・脳梗塞、心筋梗塞、血栓静脈炎等の血栓性疾患のある人、または過去に血栓性疾患があった人
 - ・動脈硬化症の人
 - ・心臓弁膜症、心房細動、心内膜炎、重篤な心不全等の心臓に障害のある人
 - ・ホルモン剤（黄体ホルモン、卵胞ホルモン、副腎皮質ホルモン等）を使用している人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・過去にヒスロンHに含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・診断の確定していない性器出血、尿路出血、乳房病変のある人
 - ・肝臓に重篤な障害のある人
 - ・高カルシウム血症の人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・血栓症を起こすおそれのある次の人
 - ・手術後1ヵ月以内の人（手術後1週間以内の人には使用できません）
 - ・高血圧症の人
 - ・糖尿病の人
 - ・高脂血症の人
 - ・肥満症の人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・心臓に障害のある人
 - ・うつ病の人、または過去にうつ病になったことがある人
 - ・てんかんのある人、または過去にてんかんになったことがある人
 - ・片頭痛、喘息、肺機能に慢性の障害がある人、または過去に片頭痛、喘息、肺機能に慢性の障害があった人
 - ・ポルフィリン症の人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用してはいけない薬[ホルモン剤（黄体ホルモン、卵胞ホルモン、副腎皮質ホルモン剤等）]があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を飲む前に血液凝固の検査が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔乳癌の場合〕

一回量	1～2錠
飲む回数	1日3回

〔子宮体癌（内膜癌）場合〕

一回量	1錠
飲む回数	1日2～3回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分をすぐに飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・重篤な血栓症があらわれることがあるので、定期的な血液凝固検査が必要です。医師が指示した受診日を守ってください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。




重大な副作用	主な自覚症状
血栓症 けっせんしょう	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい 【脳梗塞】 突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐(おうと)、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる 【心筋梗塞】 しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る 【肺塞栓症】 胸の痛み、突然の息切れ 【腸間膜血栓症】 吐き気、嘔吐、激しい腹痛、便に血が混じる 【網膜血栓症】 視力の低下、失明 【血栓性静脈炎】 発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ
うっ血性心不全 うっけつせいしんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加
アナフィラキシー あなふいらきしー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸(どうき)、息苦しい
乳頭水腫 にゅうとうすいしゅ	視力の低下、目のかすみ、頭痛

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、まひ、むくみ、体重の増加、脱力、発熱、疲れやすい、冷汗が出る
頭部	めまい、激しい頭痛、失神、頭痛、突然のめまい、突然の意識の消失、突然の意識の低下、突然の頭痛
眼	視力の低下、失明、目のかすみ

部位	自覚症状
口や喉	しゃべりにくい、喉のかゆみ、唇が青紫色になる、舌のもつれ、突然しゃべりにくくなる、突然の嘔吐、突然言葉が出にくくなる、吐き気、嘔吐
胸部	しめ付けられるような胸の痛み、鋭い胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、胸の痛み、息苦しい、息切れ、動悸、突然の息切れ
腹部	激しい腹痛
手・足	ふくらはぎの痛み・腫れ、下肢のはれ、下肢のむくみ、手足のしびれ、手足の爪が青紫～暗紫色になる、突然片側の手足が動かしにくくなる
皮膚	じんま疹、全身のかゆみ、皮膚が青紫～暗紫色になる
便	便に血が混じる

【この薬の形は？】

形状	割線入り素錠		
			
	上面	下面	側面
直径	9.0mm		
厚さ	3.5mm		
重さ	0.23g		
色	白色		
識別コード	KH405		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	日局メドロキシプロゲステロン酢酸エステル
添加剤	カルメロースカルシウム ステアリン酸マグネシウム 乳糖水和物 ヒドロキシプロピルセルロース

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：協和キリン株式会社 (<https://www.kyowakirin.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話：0120-850-150

受付時間：9時～17時30分

（土・日・祝日及び弊社休日を除く）